

企業不祥事対応の実務と 内部通報制度の活用

講師：日比谷パーク法律事務所 弁護士 小川 尚史 氏

企業不祥事の事例がしばしば世間を賑わせていますが、実際に不祥事が発生した場合に対応を誤れば株価下落や業績不振等の結果を招くだけでなく、最悪の場合には企業の存続が危ぶまれる事態にも至りかねません。本セミナーでは多種にわたる企業不祥事の類型を実例に応じて整理し、未然防止策及び発生時（有事）の対応方針を説明します。また、実例の中から成功例と失敗例を取り上げて有事対応のあるべき姿を検討するほか、現代型の企業「危機」と言うべき事案（非不祥事、内紛、「炎上」等）への対応についても検討します。

さらに、企業不祥事の未然防止策の一つとして内部通報制度を取り上げ、制度運用のあり方、通報内容の類型、制度を有効活用するための留意点等を説明します。

- **開催日時** 2017年7月7日（金） 14:30～16:40（開場14:00）
- **会場** 富士ソフト アキバプラザ 6F セミナールーム①
- **参加費** e-Disclosure Club Premium会員様～無料（1社につき2名様まで）
一般～お一人様につき ¥5,000

▼詳細、お申込みはこちら

<https://takara-print.smktg.jp/public/seminar/view/98>

● 講師紹介

日比谷パーク法律事務所 弁護士 小川 尚史（おがわ なおふみ）氏

2006年東京大学法学部卒業。2008年東京大学法科大学院修了。同年司法試験合格。2009年弁護士登録。同年日比谷パーク法律事務所入所。以後、（1）破産法、労働法、知的財産権、金融、IT・システム分野に関する訴訟、仮処分等の紛争処理業務、（2）不祥事対応、第三者委員会、平時におけるリスク管理体制整備（内部通報制度）への助言等の企業のリスクマネジメント業務、（3）会社、宗教法人、医療法人、芸能団体等の各種組織内における主導権争い（内部紛争）に関する指導・助言業務等に従事。

● プログラム

I 企業不祥事対応の実務

- (1) 企業不祥事類型の整理（実例に応じて）
- (2) 企業不祥事の未然防止策
- (3) 企業不祥事発生時の対応方針
 - ① 発覚の端緒
 - ② 初期調査、公表
 - ③ 第三者委員会・社内調査委員会による調査
 - ④ 調査終了後の対応（報告書の公表、再発防止策の実施、メディア対応）
- (4) 企業不祥事対応の成功例と失敗例に学ぶ
- (5) 第三者委員会調査に関する近時の問題・事例紹介
- (6) 現代型企業「危機」（非不祥事、内紛）への対応（実例に応じて）

II 内部通報制度の活用

- (1) 内部通報制度の意義（企業不祥事の抑止及び自浄作用）
- (2) 通報内容の類型（セクハラ・パワハラ、労務管理の不正、不適正会計等）
- (3) 各社における内部通報制度の運用体制の相違（受付窓口、調査主体、回答方法）
- (4) 内部通報制度の運用のあり方
- (5) 制度を有効活用するための留意点

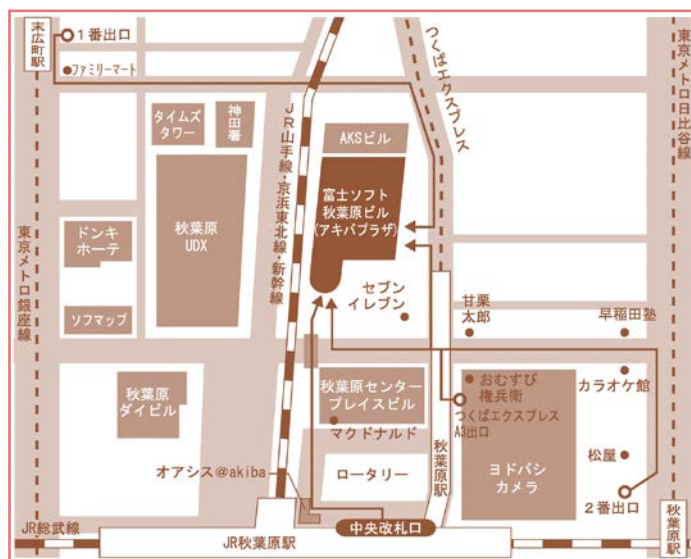
● 会場のご案内

富士ソフト アキバプラザ 6Fセミナールーム

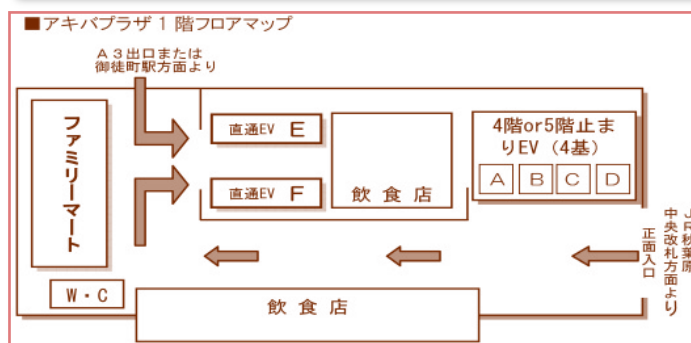
東京都千代田区神田練堀町3
 富士ソフト秋葉原ビル
 (☎ 050-3000-2741)

《アクセス》

- ・ JR線 秋葉原駅
 中央改札口より徒歩2分
- ・ つくばエクスプレス線 秋葉原駅
 A3改札口より徒歩1分
- ・ 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅
 2番出口より徒歩3分



- * 6階セミナールームへは、1階奥にあるファミリーマート側の直通エレベーター（右図 E・F）をご利用ください。正面入口側のエレベーターは4階または5階止まりとなります。



● お問い合わせ

宝印刷グループ / (株)ディスクジャー&IR総合研究所 セミナー事務局 TEL 03-3971-3125